

# 県立姫路循環器病センター 公的医療機関等2025プラン

平成29年 11月 策定  
平成30年 4月 策定

【兵庫県立姫路循環器病センターの基本情報】

医療機関名：兵庫県立姫路循環器病センター

開設主体：兵庫県

所在地：姫路市西庄甲520番地

許可病床数： 350床  
(病床の種類) 一般病床 350床

(病床機能別) 高度急性期病床 25床  
急性期病床 325床

稼働病床数： 330床  
(病床の種類) 一般病床 330床

(病床機能別) 高度急性期病床 25床  
急性期病床 305床

診療科目：内科、循環器内科、神経内科、糖尿病・内分泌内科、外科、心臓血管外科、  
脳神経外科、形成外科、精神科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、  
麻酔科、病理診断科、救急科

職員数：713名（平成29年11月1日時点）

- ・ 医師 83名
- ・ 看護職員 416名（看護補助46名含む）
- ・ 専門職 146名（内訳）薬剤師 17名、診療放射線技師 33名、  
臨床検査技師 33名、臨床工学技士 14名、  
理学療法士 10名、作業療法士 4名、  
言語聴覚士 3名、視能訓練士 2名、  
心理判定員 4名、医療福祉相談員 4名、  
栄養士 10名、調理員 12名
- ・ 事務職員 68名

## 【1. 現状と課題】

### ① 構想区域の現状

- a 病院・診療所等の医療資源は、圏域南部(姫路市南部)に集中し、北部(神崎郡、姫路市北部)に少ない。
- b 患者の約9割は、圏域内で入院医療及び救急医療を受けており地域内完結率は高いが、重症救急の圏域外搬送は多くなる等、疾患によっては圏域外の医療機関を利用している。また、隣接する西播磨圏域からの患者流入が多い。
- c 中播磨・西播磨圏域の医師数は人口10万人あたり179.8であり、全国平均(226.5)、兵庫県(226.6)に比べて低く、医師不足の状況にある。
- d 現在、三次救急医療圏域区分の西播磨ブロックにおける救命救急センターは県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院にあるが、全国の救命救急センターに比べて医師数、院内後方ベッドの数が少ない状況にある。(政令市、中核市に救命救急センターを設置する医療機関で400床未満の医療機関は全体の約1割)
- e 県立姫路循環器病センターは循環器疾患、脳神経疾患の重篤患者には対応可能であるが、総合病院でないため対応することができない診療科が存在し、救命救急センター機能として制約がある。
- f 製鉄記念広畑病院に設置されている姫路救命救急センターでは、システムを支える医師が充足していないことから安定した運営が困難な状況にある。
- g また、二次救急医療機関で対応する重症救急患者においても、当該疾患の診療のみならず、合併疾患の管理を含む診療では対応が困難な患者も存在し、より高度な診療機能を有する医療機関への転送を必要とすることがある。
- h 圏域の高齢化に伴い、認知症高齢者が増加しており、BPSD(周辺症状=行動・心理症状)に家族や施設等が対応できていない。また、身体合併症を抱えた認知症患者への対応が精神科病床では難しいことから、治療や介護体制の充実と受入先の確保が必要である。
- i 身体合併症を有する精神科患者の医療提供体制については、未だ不十分な状況にある。

### ② 構想区域の課題

- a 中播磨・西播磨圏域の3次救急等の高度専門・急性期医療について、さらなる充実を図り、圏域外に搬送される救急患者の圏域内受け入れを目指す等、地域内完結率、救急応需率を確保する必要がある。
- b 2次救急医療機関において合併疾患の管理等で対応困難な患者についても、圏域内での速やかな受け入れ先の確保を図るため、地域の医療機関の機能分担・連携をより一層促進する必要がある。
- c 全国的、全県的に見て、中播磨・西播磨圏域において不足している医師数を確保するとともに定着を促す仕組み作りが必要となっている。
- d 精神科病床では対応が困難な身体合併症を有する精神疾患患者等の受け入れ先の確保等治療体制の整備が必要である。

### ③ 自施設の現状

- a 当院はJR姫路駅から公共交通機関で概ね15分の距離に位置しているが、同駅からのバス路線は日中1時間に1本の状況にある。
- b 当院は、循環器疾患の専門病院として心疾患、脳血管疾患に対する高度専門医療を担うとともに、中・西播磨医療圏域の救命救急センターとして、主に循環器疾患を対象とした3次救急医療を担っている。
- c 特に平成26年4月にはハイブリッド手術室を整備することにより、低侵襲かつ高度な最先端医療を提供、順次その適応を拡大している。
- d さらに、同月に心疾患等の合併症を有する患者への治療体制を強化するため、糖尿病・内分泌内科、形成外科、眼科を標榜し、同9月には糖尿病センターを設置するなど、順次医療機能を拡充してきたところである。
- e また、様々な政策への対応、貢献として、平成8年に中播磨医療圏域の災害拠点病院として位置づけられ、さらに、平成23年には、認知症疾患医療センターを設置した。
- f 入院、外来ともに中播磨圏域以外では、西播磨圏域からの患者が概ね20%程度、その他の地域からの患者が概ね14%程度を占めている。
- g 経営状況は近年、医業収入の伸びよりも、人件費、材料費、減価償却費等医業費用の伸びが上回り、経常収支比率が低下傾向となっている。

#### 【診療実績 等】(直近5年)

##### ■ 患者数(1日平均)推移

(単位:人)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
外来	327.6	347.4	367.5	367.5	360.7
入院	237.2	223.5	239.5	236.2	221.3

##### ■ 平均在院日数推移

(単位:日)

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
14.3	13.8	13.8	14.4	13.4

##### ■ 病床稼働率推移

(単位:%、床)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
病床稼働率	71.9	67.7	72.6	71.6	67.1
稼働病床数	330	330	330	330	330

##### ■ 手術件数(入院及び外来)推移

(単位:件)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
全体	1,308	1,139	1,535	1,435	1,517
うち循環器内科	288	255	304	287	394
うち心臓血管外科	693	622	792	803	832
うち脳神経外科	168	115	143	105	99

#### ④ 自施設の課題

- a 整備後36年経過に伴う本館の老朽化及び耐震基準不適合による早期建替整備の必要性
- b 診療報酬改定への的確な対応及び診療機能の高度化による診療単価の向上を図る等の収益確保による経常収支比率の改善
- c 今後、高齢化の進行に伴う合併症等への対応を見据えた不足診療科の設置
- d 今後、高齢化の進行により見込まれる救急需要の増大に対応するため、救急医の確保及び不足する診療科の新設による救急体制・対応の強化
- e 大学との更なる連携と若手医師のキャリア形成が可能となる教育・研修機能等の整備による医師の安定的確保

### 【2. 今後の方針】

#### ① 地域において今後担うべき役割

##### a 基本的方向

当院は、今後も他の医療機関では対応困難な心疾患、脳血管疾患の急性期を中心とした高度専門医療を提供しながら、引き続き、合併症治療も含めた全県及び中播磨・西播磨圏域の中核的な病院としての役割を担っていく。

さらに中期的には、「県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院との統合再編基本計画」に基づき、両病院の専門性の高い医療を継承、発展させ、また、地域医療構想との整合を図りながら、全県及び中播磨・西播磨圏域における中核的な医療機関として平成34年度上期開院を目的に新病院の整備を進める。

##### b 兵庫県地域医療構想を踏まえた役割の明確化

###### ア 地域医療構想を踏まえた当院の果たすべき役割

中播磨・西播磨圏域の将来人口推計は、総人口は減少が見込まれるものの、高齢者人口は増加後、高止まるため、患者数は増加すると推計される。また、救急医療体制は、医師不足の影響により後送輪番を辞退する病院が増え、維持が困難となっており、幅広い疾患に対応する救急医療の充実が課題である。

このような中、当院は、高度専門・急性期医療を中心とした政策医療を担うべき中核的な医療機関として、断らない救急など、地域の抱える課題を解消する役割を果たす必要がある。

###### イ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- ・ 当院は、高度専門・急性期医療を担う医療機関として連携医療施設と提携・協力し、地域医療ネットワークの中心的役割を果たす必要がある。
- ・ 重症心不全患者等を在宅医療につなげるための協力体制を構築する。

##### c 診療機能

###### ア 診療機能の充実

###### i 心疾患に対する急性期医療の充実

循環器疾患の全県的な拠点病院として、より良質な医療を安全に提供するため、心臓血管手術や心カテーテル治療にかかる診断・治療技術の向上を図る。

また、ハイブリッド手術室を活用し、経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）や大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術（EVAR、TEVAR）などの低侵襲治療の推進を図る。

さらに、内科的治療が困難になった重症心不全症例に対する補助人工心臓（LVAD）の実施など高度先進医療の提供、研究を進める。

- ii 脳血管疾患に対する急性期医療の充実  
循環器疾患の全県的な拠点病院として、先進的な血管内治療など、より安全で侵襲性の低い治療を推進する。
- iii 合併症に対する診療機能の強化  
循環器疾患の全県的な拠点病院として、糖尿病など、心疾患等の合併症を有する患者への治療体制を強化する。

【当院の主な診療機能】

分野	内容
循環器疾患医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心疾患に冠動脈バイパス術や低侵襲な経皮的冠動脈形成術、経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）等の急性期医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。</li> <li>・ 脳血管疾患に対する血管内治療、血栓溶解療法（t-PA）や外科的治療等の急性期医療及び急性期リハビリテーション医療を提供する。</li> </ul>
救急医療等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救命救急センターにおいて心疾患、脳血管疾患を中心とした救命救急医療を提供、また災害拠点病院としてDMATを設置する等により災害医療を提供する。</li> <li>・ 脳卒中では血栓溶解療法（t-PA）に、急性心筋梗塞では心臓カテーテル検査等の専門的検査及び大動脈バルーンポンピング等の専門的診療に24時間対応している。</li> </ul>
その他の政策医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神経難病医療一般協力病院として、入院治療が必要な重症神経難病患者に対し適切な医療を提供する。</li> <li>・ 認知症の高度な診断及び治療を提供するとともに、認知症疾患医療センター運営事業を実施して、専門医療相談・鑑別診断・情報発信等を推進する。</li> <li>・ 院内に糖尿病センターを設置する等、心疾患等の合併症を有する糖尿病などの患者への循環器の専門病院として医療を提供している。</li> </ul>

イ 診療機能の効率化（再編・ネットワーク化）

救命救急センターは、心疾患と脳血管疾患を中心に対応し、他の重篤患者への対応は近隣医療機関との連携のもと対応している。さらに、兵庫県ドクターヘリの準基地病院である製鉄記念広畑病院とも連携を図ることにより播磨地域全体の救急医療の充実を図る。

また、当院の診療科は限られており、合併症等への対応が十分に対応できない場合（消化器等の循環器以外の内科系疾患）もあるため、今後の医療制度改革の動向に対応し、安定的・継続的に良質な医療を提供するとともに、救急医療体制を充実するため、平成34年度上期を予定する製鉄記念広畑病院との統合再編により、診療機能を充実し中播磨・西播磨圏域の中核的な医療機関を目指す。

② 今後持つべき病床機能

「県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院との統合再編基本計画」に基づいて設置される新病院では、両病院の専門性の高い医療を継承、発展させることとしているため、現在の高度急性期病床及び急性期病床を維持する。

③ その他見直すべき点

特になし

【3. 具体的な計画】

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	209床	→	
急性期	121床		
回復期	—		
慢性期	—		
(合計)	330床		

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域医療連携推進法人の認定取得</li> <li>○ 法人の理事会、意見交換会の開催</li> <li>○ 法人及び広畑病院との共催による地域医療連携懇談会の開催</li> <li>○ 新病院開院支援業務委託業者の選定・発注</li> <li>○ 広畑病院との統合再編に向けた両病院職員によるWGの開催</li> <li>○ 設計委託業者の選定・発注</li> <li>○ WGにおける新病院の検討(2017年度～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 統合再編に向けた広畑病院との連携強化</li> </ul>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     2年間程度で集中的な検討を促進                 </div>
2018年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新病院の基本設計完成</li> <li>○ 新病院の実施設計完成</li> </ul>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     第7期介護保険事業計画                 </div>
2019～2020年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2019年度 施工業者の選定・発注</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新病院建設着工</li> </ul>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     第8期介護保険事業計画                 </div>
2021～2023年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2021年度 新病院での医療機能継承に伴う医療審議会等の受審</li> <li>○ 2021年度 新病院での医療機能継承に伴う各種手続</li> <li>○ 2022年度上期 新病院移転</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2021年度 建物竣工・引渡</li> <li>○ 2022年度上期 新病院開院</li> </ul>	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     7次医療計画                 </div>

② 診療科の見直しについて

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持	○ 現病院ではこれまで提供してきた診療機能を継承することとし、診療科目を維持する。	→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

		28年度 実績	29年度 見込	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画
業務量	許可病床数（床）	350	350	350	350	350
	稼働病床数（床）	330	330	330	330	330
	稼働病床稼働率（％）	67.1	71.0	76.4	76.4	76.4
	1日当たり入院患者数（人）	221	234	252	252	252
	1日当たり外来患者数（人）	361	363	369	369	369
医療機能	救急患者数（人）	4,688	4,911	4,936	4,936	4,936
	手術件数（件）	1,476	1,387	1,468	1,468	1,468
	手術室稼働率（％）	55.9	52.5	56.0	56.0	56.0
	平均在院日数（日）	13.4	13.7	14.1	14.1	14.1
	紹介率（％）	72.8	73.0	71.5	71.5	71.5
	逆紹介率（％）	119.5	123.3	120.0	120.0	120.0

経営に関する項目\*

		28年度 実績	29年度 見込	30年度 計画	31年度 計画	32年度 計画
財務	経常収支比率（％）	98.3	98.6	103.5	103.1	102.9
	医業収支比率（％）	88.6	89.1	92.2	91.7	91.6
	入院単価（円）	100,765	100,400	98,652	98,652	98,652
	外来単価（円）	26,792	28,082	27,657	26,578	26,578
	人件費比率（％）	50.2	49.5	47.5	47.8	48.0
	材料費比率（％）	45.6	45.1	45.1	45.1	45.1
	経費比率（％）	11.7	11.6	11.1	11.1	11.1
	教育研修費比率（％）	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6

\* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

その他

【4. その他】

当院と製鉄記念広畑病院を統合再編するにあたり、新病院では診療機能の集約化、教育・研修機能を有するための指導体制の充実強化等を図るため、地域医療連携推進法人制度を活用し、統合前から、両病院相互間の機能分担および業務の連携を推進し、中播磨・西播磨圏域において質の高い効率的な医療提供体制を確保していく。